

平成25年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年9月30日

上場会社名 イーサポートリンク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2493 URL http://www.e-supportlink.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 信介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 仲村 淳 TEL 03-5979-0784
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第3四半期の連結業績（平成24年12月1日～平成25年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第3四半期	3,245	0.8	524	21.4	519	23.7	247	△36.4
24年11月期第3四半期	3,219	3.1	431	18.6	419	18.4	388	18.9

(注) 包括利益 25年11月期第3四半期 248百万円 (△36.3%) 24年11月期第3四半期 389百万円 (19.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第3四半期	55.92	—
24年11月期第3四半期	87.88	—

(注) 当社は、平成25年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第3四半期	5,002	2,711	54.2
24年11月期	4,334	2,463	56.8

(参考) 自己資本 25年11月期第3四半期 2,711百万円 24年11月期 2,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年11月期	—	0.00	—	—	—
25年11月期（予想）	—	—	—	0.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。なお、平成25年11月期の第2四半期末以前の配当金については、当該株式分割が行われる前の金額を記載しております。

3. 平成25年11月期の連結業績予想（平成24年12月1日～平成25年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,306	0.4	536	9.4	529	11.5	330	△24.8	74.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、平成25年11月期の業績予想における1株当たり当期純利益は、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年11月期3Q	4,424,800株	24年11月期	4,424,800株
② 期末自己株式数	25年11月期3Q	－株	24年11月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年11月期3Q	4,424,800株	24年11月期3Q	4,424,800株

(注) 当社は、平成25年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和による円安及び株高の進行により景気回復が期待される中、企業収益、雇用情勢に改善の動きがみられるなど、着実に持ち直しつつあります。

生鮮青果物流通業界におきましては、バナナの輸入量は前年を下回る水準で推移し、小売業の店舗調整後の食料品販売額は前年並みの水準で推移いたしました。またIT関連投資に関する国内売上高は概ね前年を上回る水準で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、「全ては生産者と生活者のために」を経営理念に掲げ、「食の流通情報を活用し、生産者の暮らしを支え、生活者の食生活に貢献する」企業グループを目指しております。この実現に向けて、事業基盤の強化に向けた業務受託における生産性の向上や総合的なサービスレベルの向上等に継続して取り組むとともに、当社が強みを持つサービスの拡販営業活動を推進し、新規顧客獲得に努めてまいりました。

こうした中、生鮮MDシステム通過高の増加等により、前年同期と比較して営業利益及び経常利益は増益となったものの、四半期純利益は税金費用の増加により前年同期と比較して減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は32億45百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は5億24百万円（同21.4%増）、経常利益は5億19百万円（同23.7%増）、四半期純利益は2億47百万円（同36.4%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(システム事業)

システム事業におきましては、主として流通における情報システムの提供を行っております。提供サービスに関わるソフトウェア、ハードウェアなどの保守・機能拡張を実施し、サービスレベル向上や災害対応力強化に努めております。

輸入青果物サプライチェーン向けに提供するイーサポートリンクシステムにおきましては、現行システムの安定運用を継続するとともに、近年の多様化する顧客ニーズへの一層の対応を目指し、再構築版のリリースに向け開発を進めてまいりました。大手量販店及び取引先向けに提供する生鮮MDシステムにおきましては、利用取引先数、データ件数を増加させてまいりました。

以上の結果、売上高は17億5百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益は6億55百万円（同27.3%増）となりました。

(業務受託事業)

業務受託事業におきましては、主としてサプライチェーンにおける流通オペレーション機能を提供し、生産性向上による更なる流通合理化に努めております。バナナの輸入量減少等の理由による業務受託の処理量が減少する中、サプライチェーンの流通合理化を実現するため、オペレーション効率化、人員配置適正化、災害対応力強化などを進めてまいりました。

以上の結果、売上高は14億42百万円（前年同期比4.3%減）、セグメント利益は5億25百万円（同6.8%減）となりました。

(農産物販売事業)

農産物販売事業におきましては、生産者との連携強化及び販路の拡大、収益力の改善に努めてまいりましたが、収支均衡には至りませんでした。

以上の結果、売上高は98百万円（前年同期比9.2%増）、セグメント損失は31百万円（前年同期はセグメント損失42百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて6億68百万円増加し、50億2百万円（前連結会計年度末比15.4%増）となりました。

内訳としては、流動資産が31億23百万円（同11.0%増）、固定資産が18億73百万円（同23.5%増）、繰延資産が6百万円（同44.0%増）となりました。

流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が2億93百万円増加したことによるものです。

固定資産の主な増加要因は、有形固定資産のリース資産が1億87百万円、ソフトウェア仮勘定が2億53百万円増加した一方、ソフトウェアが65百万円減少したことによるものです。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末と比べて4億19百万円増加し、22億91百万円(同22.4%増)となりました。

内訳としては、流動負債が11億44百万円(同6.2%増)、固定負債が11億47百万円(同44.5%増)となりました。

流動負債の主な増加要因は、未払法人税等が2億51百万円増加した一方、短期借入金が1億60百万円減少したことによるものです。

固定負債の主な増加要因は、リース債務が1億52百万円、社債が1億円増加したことによるものです。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて2億48百万円増加し、27億11百万円(同10.1%増)となりました。

この結果、自己資本比率は54.2%となりました。

その主な増加要因は、四半期純利益を2億47百万円計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期の業績予想につきましては、平成25年7月1日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

耐用年数の変更

当社が保有するソフトウェアは、従来、耐用年数を5年として減価償却を行ってきましたが、イーサポートリンクシステムの再構築により、既存のイーサポートリンクシステムについては、第2四半期連結会計期間において、利用期間を見直し耐用年数を変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は37,694千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は同額減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,069,875	2,363,570
売掛金	391,341	395,936
有価証券	99,971	99,972
商品及び製品	278	23
仕掛品	10,991	5,430
原材料及び貯蔵品	5,514	5,484
その他	235,532	253,292
貸倒引当金	△570	△607
流動資産合計	2,812,934	3,123,101
固定資産		
有形固定資産	274,989	457,105
無形固定資産		
ソフトウェア	176,568	110,599
ソフトウェア仮勘定	690,222	943,930
その他	25,255	18,268
無形固定資産合計	892,045	1,072,798
投資その他の資産		
その他	415,780	408,393
貸倒引当金	△65,529	△64,790
投資その他の資産合計	350,251	343,602
固定資産合計	1,517,286	1,873,507
繰延資産	4,240	6,106
資産合計	4,334,461	5,002,715
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,121	331
短期借入金	310,000	150,000
1年内償還予定の社債	80,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	73,600	153,592
未払法人税等	15,255	266,344
賞与引当金	—	62,935
その他	596,344	390,797
流動負債合計	1,077,321	1,144,001
固定負債		
社債	130,000	230,000
長期借入金	287,200	360,342
退職給付引当金	268,180	295,475
資産除去債務	38,892	39,277
その他	69,781	222,254
固定負債合計	794,054	1,147,349
負債合計	1,871,376	2,291,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,721,514	2,721,514
資本剰余金	620,675	620,675
利益剰余金	△880,112	△632,696
株主資本合計	2,462,077	2,709,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,007	1,871
その他の包括利益累計額合計	1,007	1,871
純資産合計	2,463,084	2,711,364
負債純資産合計	4,334,461	5,002,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
売上高	3,219,438	3,245,926
売上原価	1,915,553	1,797,612
売上総利益	1,303,884	1,448,313
販売費及び一般管理費	871,999	924,021
営業利益	431,885	524,291
営業外収益		
受取利息	512	597
受取配当金	—	496
業務受託料	4,958	4,950
投資事業組合運用益	—	5,121
その他	2,378	2,646
営業外収益合計	7,850	13,811
営業外費用		
支払利息	11,487	14,428
その他	8,291	3,983
営業外費用合計	19,779	18,412
経常利益	419,956	519,691
特別利益		
固定資産売却益	—	532
投資有価証券売却益	283	—
特別利益合計	283	532
特別損失		
減損損失	—	11,012
その他	3,687	1,028
特別損失合計	3,687	12,040
税金等調整前四半期純利益	416,553	508,182
法人税等	27,681	260,766
少数株主損益調整前四半期純利益	388,871	247,416
四半期純利益	388,871	247,416

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	388,871	247,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	896	863
その他の包括利益合計	896	863
四半期包括利益	389,768	248,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	389,768	248,279

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム 事業	業務受託 事業	農産物販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,622,108	1,507,487	89,842	3,219,438	—	3,219,438
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,655	4,016	26,626	35,298	△35,298	—
計	1,626,764	1,511,503	116,468	3,254,736	△35,298	3,219,438
セグメント利益又は 損失(△)	514,688	563,973	△42,181	1,036,480	△604,594	431,885

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△604,594千円には、セグメント間取引消去9,719千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△614,313千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム 事業	業務受託 事業	農産物販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,705,562	1,442,219	98,144	3,245,926	—	3,245,926
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,731	4,773	22,472	30,977	△30,977	—
計	1,709,293	1,446,992	120,617	3,276,903	△30,977	3,245,926
セグメント利益又は 損失(△)	655,207	525,764	△31,398	1,149,573	△625,281	524,291

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△625,281千円には、セグメント間取引消去9,715千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△634,997千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項
(耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、既存のイーサポートリンクシステムについては、第2四半期連結会計期間において、利用期間を見直し耐用年数を変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、「システム事業」において36,201千円、「業務受託事業」において1,492千円それぞれ減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「農産物販売事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、11,012千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。